

6. 活動の進め方



活動は、5つの基本的考え方に基づいて進めます。

①個々の活動の尊重

活動は無理をせず、個々の活動を尊重しながらできることからはじめ、楽しみながら継続的にみんなで取り組みます。

②協力と連携

(a) 活動団体の地域活動に他の団体や個人が参加することで、活動をみんなで盛り上げて活性化させ、流域内に広がりのある協力と連携のネットワークをつくります。そのため、今後も流域内で活動する団体、個人に参加と協力を呼びかけます。

(b) 協力と連携は団体や個人だけでなく、さらに広がりのある事業者や教育・研究機関、行政とのネットワークをつくり、それぞれの強みを活かし活動に取り組みます。

③活動の流れ

活動は、みんなで集まり、見て知って学び、話し合って考え、実践します。

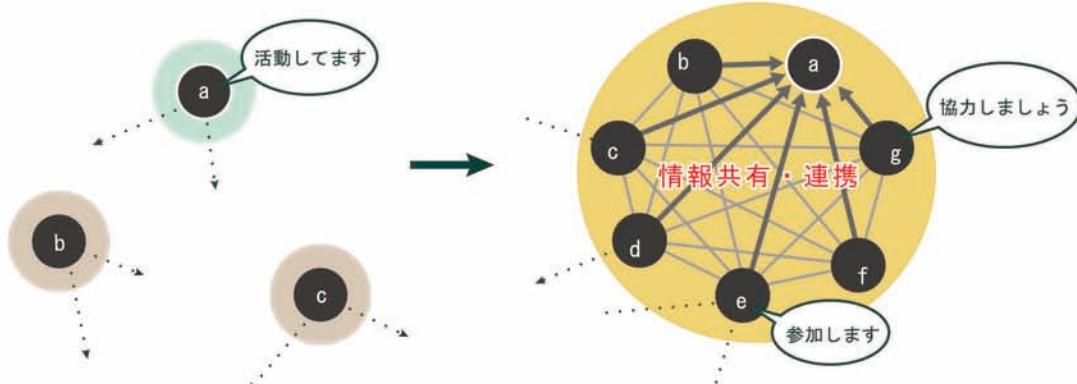
④情報の共有と発信

団体や個人が集まり、情報交換・共有からお互いを知り、さらにその情報を発信することで協力と連携のネットワークを広げます。

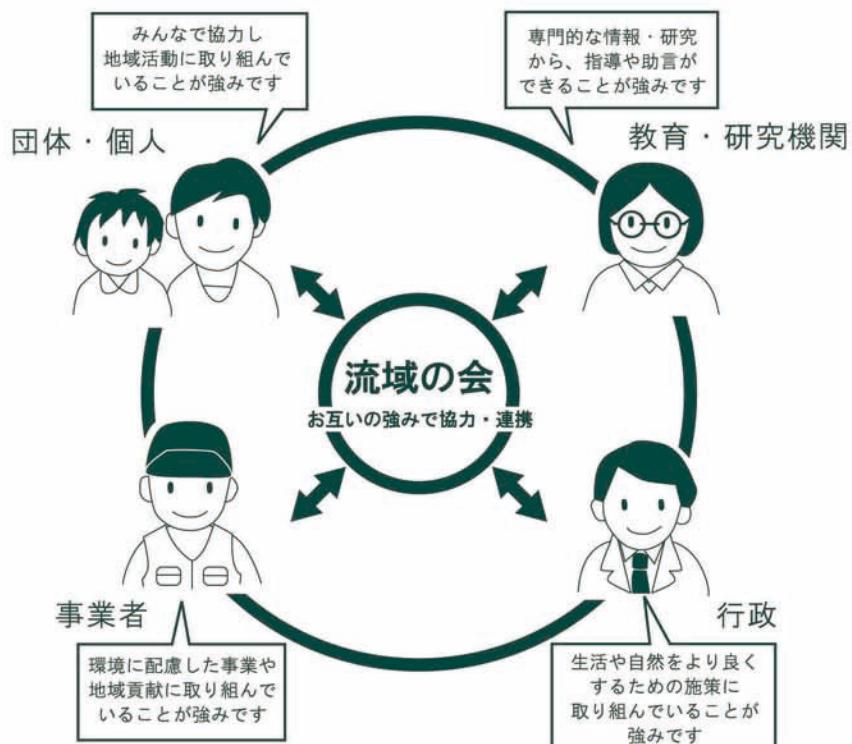
⑤見直し

将来像に向け、活動内容を時々振り返りながらよりよい活動を目指します。

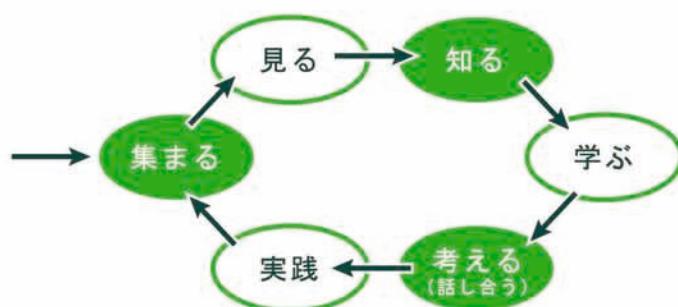
②協力と連携(a) イメージ図



②協力と連携(b) イメージ図



③活動の流れ イメージ図

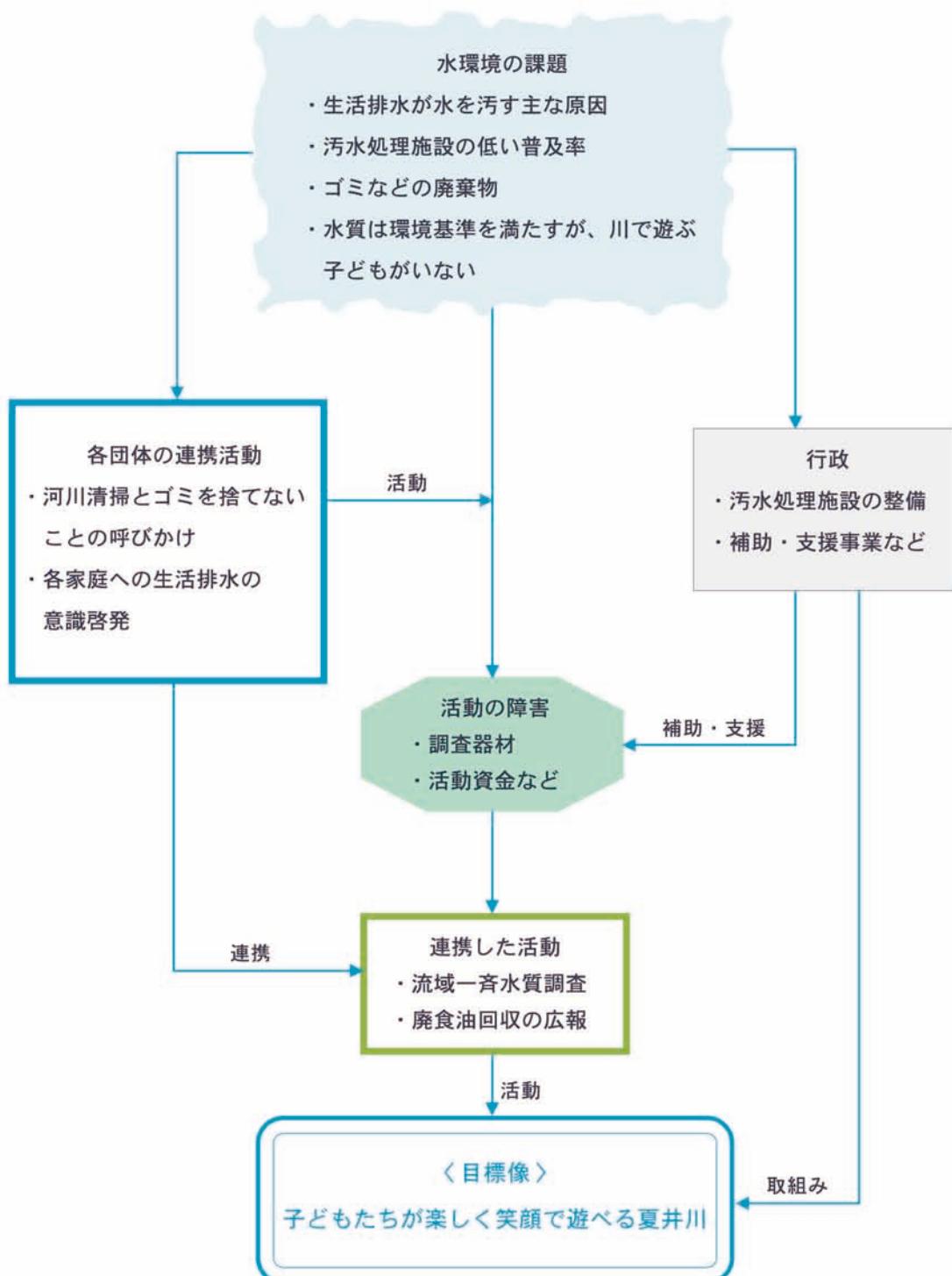


7. 活動内容

7つの活動の方向から、それぞれの目標像に向けた具体的な活動に取り組みます。

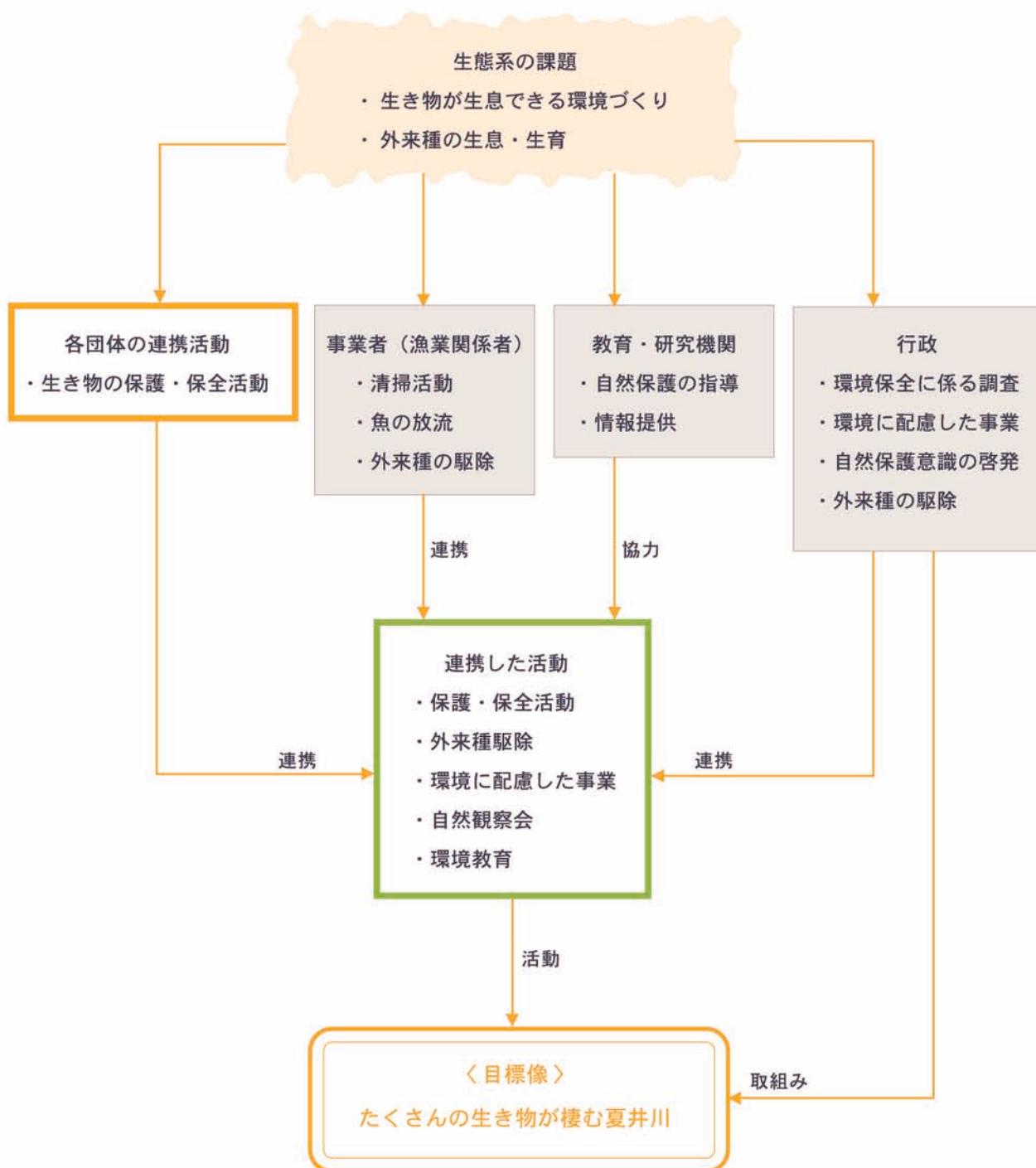
活動の方向① 水環境を守る

子どもたちが笑顔で遊べる夏井川にするために、流域内の水の汚れ（水質）を知り、身近にできる水を汚さない工夫をみんなで考え、流域内にその取組みを広げます。また各団体の清掃活動と協力し、川をきれいにする活動に取り組みます。



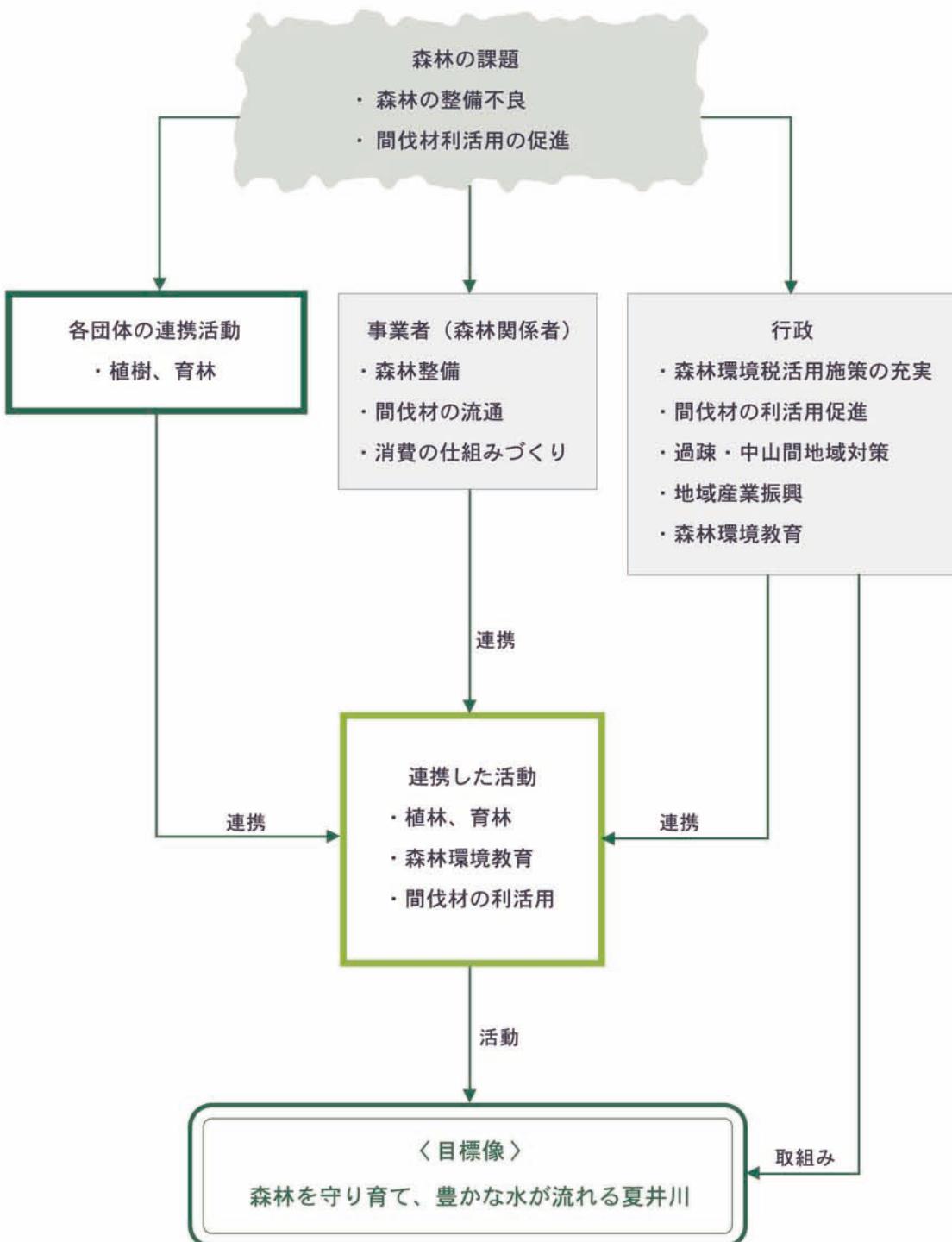
活動の方向② 生態系を守る

たくさんの生き物が棲む夏井川にするために、生態系を知る自然観察会や、環境・環境問題への興味・関心を高める環境教育などを実施し、自然保護等の環境意識の啓発に取り組みます。また、生き物が生息・生育できる環境の保護・保全活動や、在来種を脅かす外来種駆除に取り組みます。



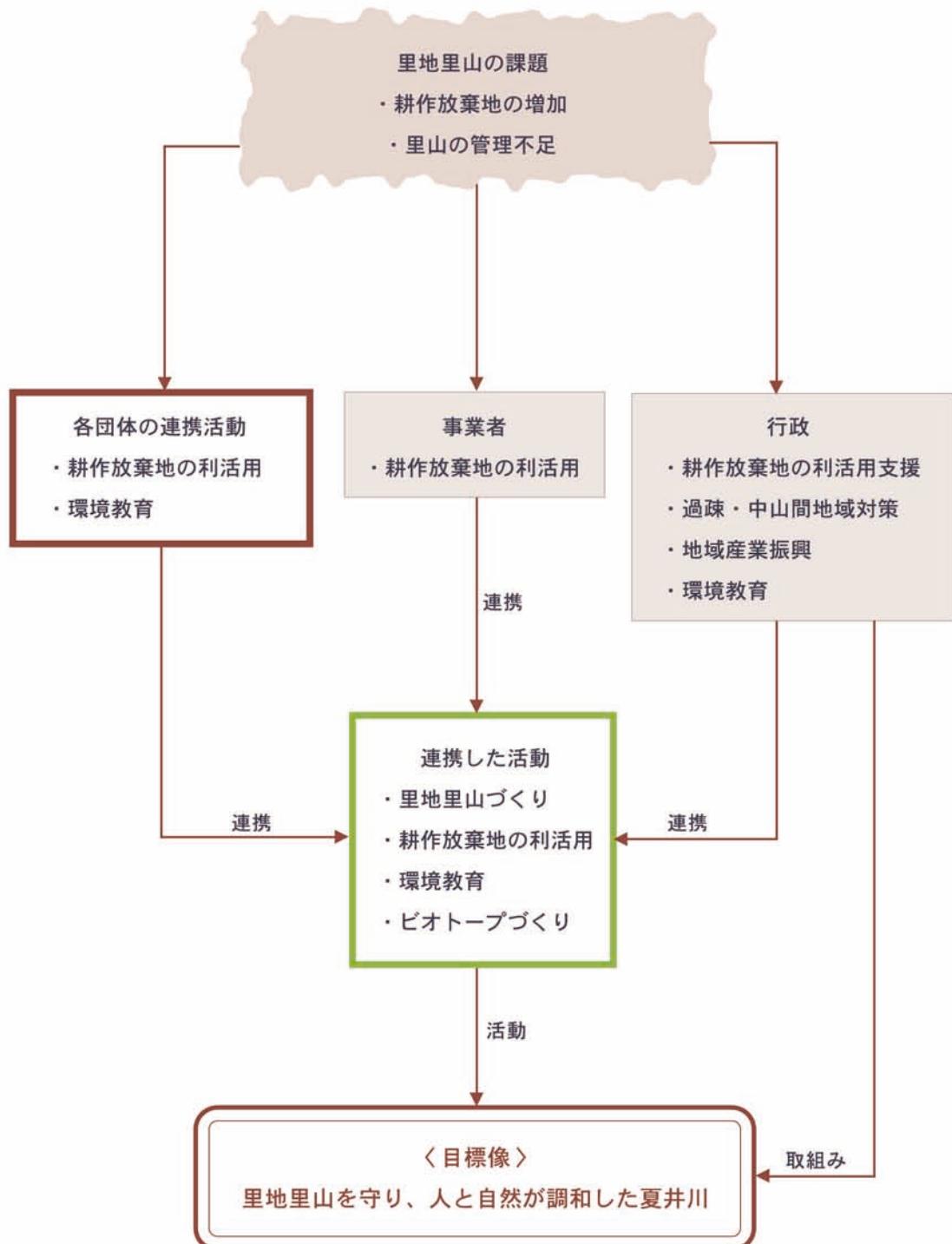
活動の方向③ 森と水を育む

森林を守り育て、豊かな水が流れる夏井川にするために、植樹・育林活動や、森林整備の課題である間伐材の利活用促進に取り組みます。また森林関係者との交流や環境教育から、森と海のつながりや森林保全意識の啓発に取り組みます。



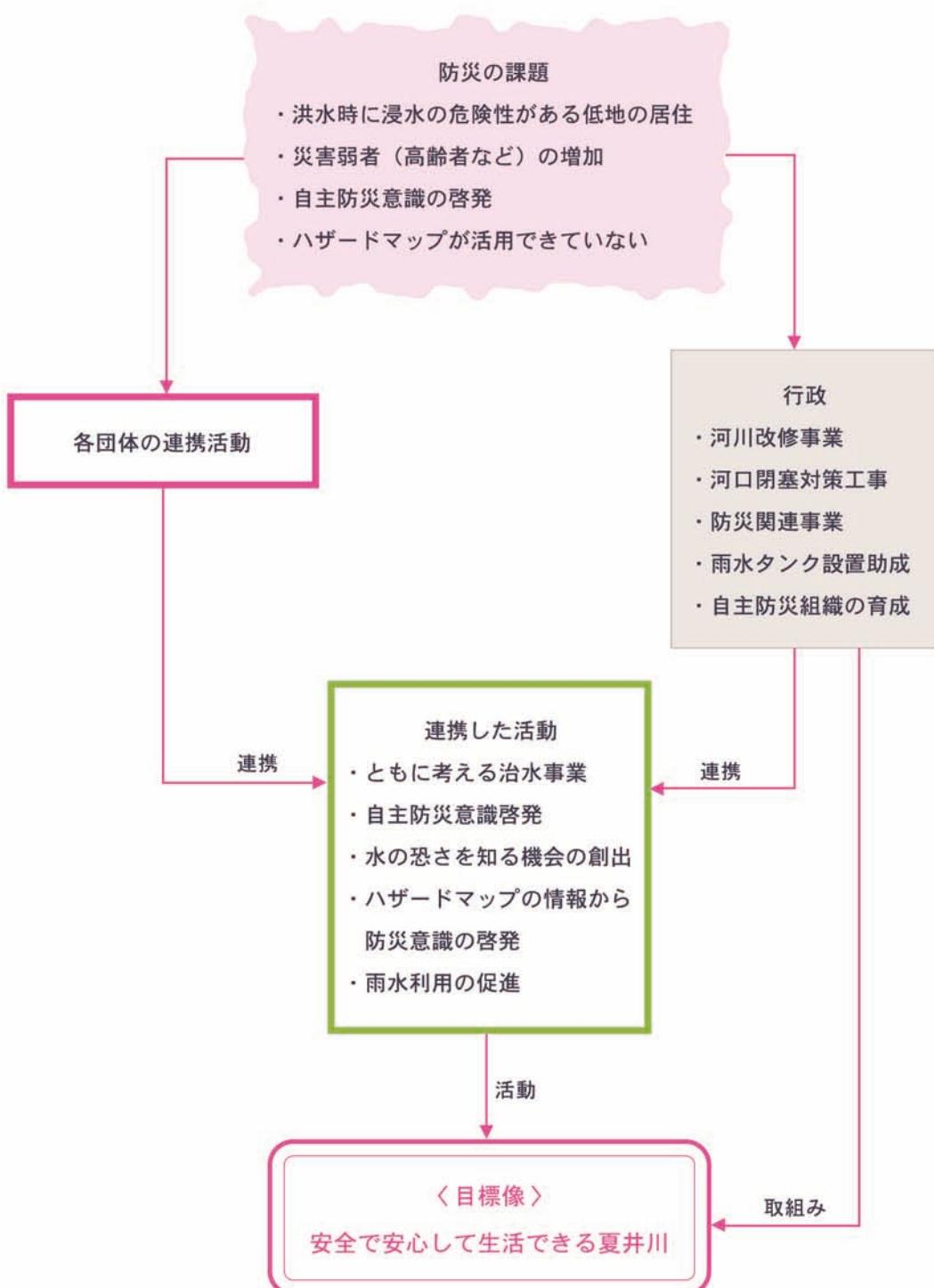
活動の方向④ 里地里山を守る

里地里山を守り、人と自然が調和した夏井川にするために、耕作放棄地が多い中山間地の農地を利用し、豊かな生態系が形成される里地里山の創造を図り、魅力ある地域づくりに取り組みます。また環境保全や環境学習の場など耕作放棄地の新たな利活用に取り組みます。



活動の方向⑤ くらしを守る

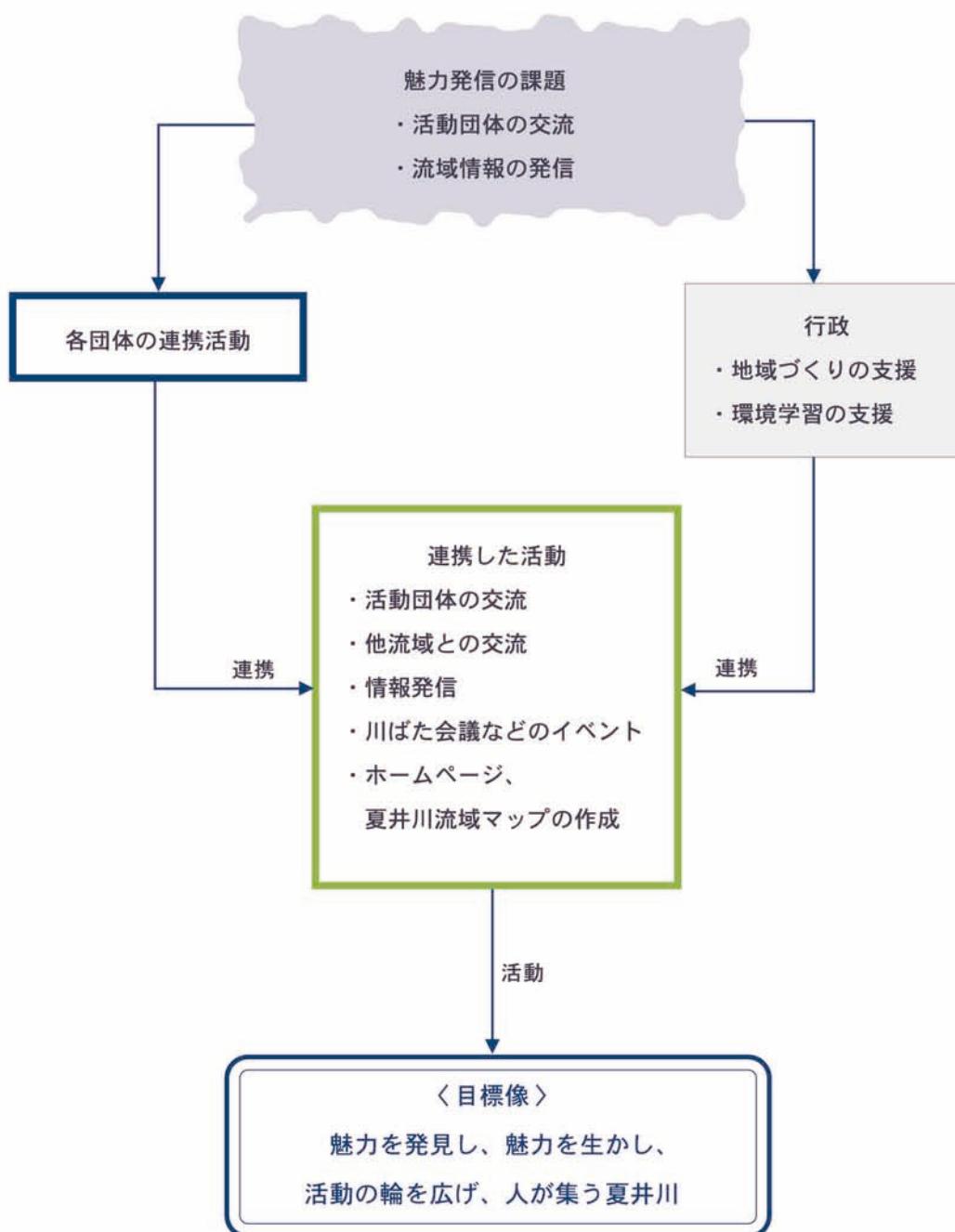
安全で安心して生活できる夏井川にするために、水に対する防災意識の啓発に取り組み、地域での自主防災の意識を高める活動をします。また雨水がすぐに川に流れこまないように、雨水利用の普及などを促します。



活動の方向⑥ 流域の魅力を発信する

活動の輪を広げ人が集う夏井川にするために、夏井川流域の様々な魅力を活かし、流域内外の人々に情報を発信します。具体的には、流域内で活動する団体や個人などが集まり、お互いの活動を報告したり、交流を図ることで流域内の連携の輪を広げることに取り組みます。また、他流域との交流を通じて、夏井川の魅力をあらためて見直します。

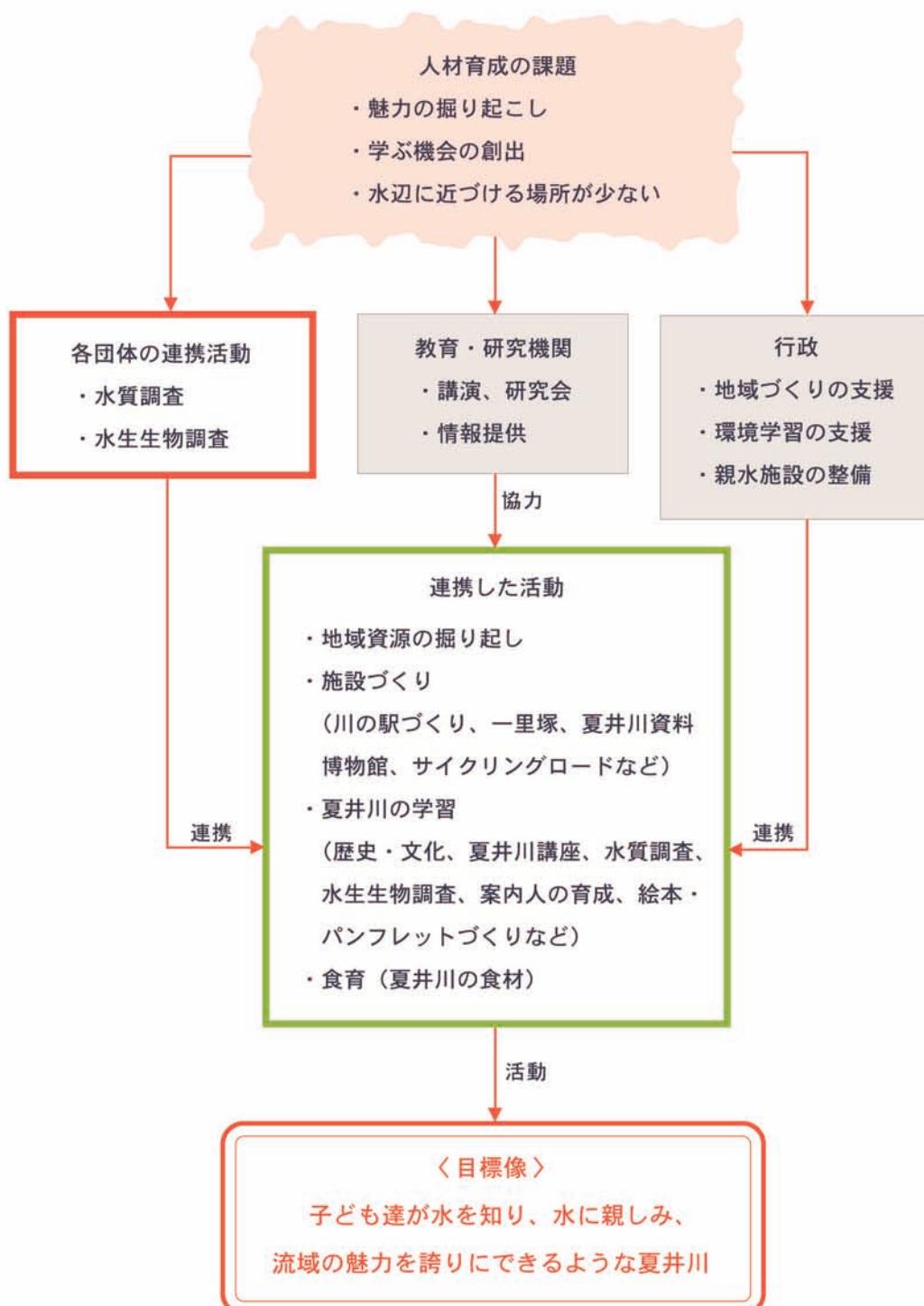
流域にある先人が築いた歴史や文化などの魅力を掘り起こし、ホームページなどで情報を発信していきます。



活動の方向⑦ 人を育てる

子どもたちが、水を知り、水に親しみ、流域の魅力を誇りにできる夏井川にするために、夏井川流域の自然、歴史、文化、人などの地域資源を掘り起こし、これらの情報を子どもたちに伝える活動に取り組みます。特に、子どもたちが水を知り、水に親しみ、夏井川流域の魅力に触れ、楽しみながら学べる機会の創出を図ります。

また、これらの活動を通じて若い人の参加を促します。



おわりに

私たちは、川ばた会議の「見る、知る、学ぶ」の活動や流域一斉水質調査など、これまで楽しみながら取り組んできました。そして、「つながり」を意識することの大切さに気付きました。

「森・川・海に笑顔が見える流域を！」の合言葉のもとに、様々なつながりを大切にしながら、これからも何よりそこに住む私たちの笑顔を大切にしたいと考えています。

私たちはここに示した7つの活動の方向にそって、個々で取り組んでいく活動を発展させつつ、流域を知り魅力を発信する「流域マップづくり」、「川ばた会議」や、水質改善のための「流域一斉水質調査」、「廃食油回収の広報」等の取組みを今後も無理せず楽しみながら実施し、その中で少しずつ新たな連携の輪を広げていきたいと思います。

みんなで、子どもたちの笑顔があふれる夏井川にしましょう！

